

令和7年11月25日

長岡天神駅西地区再開発準備組合が設立（令和7年11月17日）

■ 多世代が集い、未来へつながるまちづくりを目指して

この度、阪急長岡天神駅西地区において、地権者による「長岡天神駅西地区再開発準備組合」が令和7年11月17日に設立されましたのでお知らせいたします。



1. 設立の経緯

阪急京都線の特急停車駅である阪急長岡天神駅周辺は、長岡市の玄関口として重要な役割を担う一方で、狭隘な道路環境、駅前空間の魅力不足、踏切による東西の分断など、多くの課題を抱えています。

こうした課題を解決し、安全・安心で賑わいのあるまちづくりを実現するため、平成31年3月に長岡京市では「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」を策定し、令和元年度以降、地権者との事業検討会や意見交換会を重ねてきました。

令和5年11月には、「阪急長岡天神駅西地区地権者検討会」が設立され、約2年間にわたる検討を経て、このたび準備組合へ移行しました。

2. 準備組合の概要

名 称	長岡天神駅西地区再開発準備組合
設立日	令和7年11月17日
理事長	湯浅 一朗
組合員数	45名(対象地権者 61名中/加入率 73.8%) *11月18日現在
対象区域	約 1.6 ha
事務局	長岡京市まちづくり政策室(京都府長岡京市開田一丁目1-1)

3. 今後のスケジュール

地権者検討会が策定した「阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 西地区整備計画」を基に、事業化に向けた具体的な検討を進めていくこととしています。

準備組合では、これから約2年かけて実施を判断するための「事業実施計画」を作成。その計画を基に、約2年を目途に長岡京市が都市計画決定を行うことを想定しています。その後の京都府の事業認可手続き、本組合の設立などを経て、工事着手まで全体で10年程度を想定しています。

今年度は、不動産デベロッパーへのヒアリングや交通量調査の実施などを予定しています。

4. 検討の基になる「西地区整備計画」の概要

「多世代が集い、未来へつながるまちづくり」をまちづくりのビジョンとして掲げ、駅前に憩い・賑わい広場(約 2,200 m²)や交通広場(約 2,500 m²)などを整備、北側敷地(約 3,200 m²)・南側敷地(約 6,100 m²)に店舗やオフィス、ホテルの他、分譲・賃貸住宅などを計画しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

長岡天神駅西地区再開発準備組合 事務局(長岡京市まちづくり政策室内 担当:上田)
TEL:075-955-9719/FAX: 075-951-5410/メール:machidukuri@city.nagaokakyo.lg.jp